

福祉サービス第三者評価推進シンポジウム開催要綱

1 趣 旨

福祉関係者においてはコロナ後も非常に厳しい環境が取り巻いており、物価高に伴う光熱水費や食糧費などの高騰、予想を上回る少子高齢化の進展による人材確保、人材定着が困難になっています。

一方、内部環境的には、長年、同じ職員同士で業務を続けることにより、施設の運営マネジメントが内向きになる危険性もはらんでいます。

これらの課題を解決するためには、改めて自職場の内部環境、外部環境を見直して中長期的な視点に基づき施設運営・経営を行っていくとともに、外からの視点を入れることが大切になります。

そこで、こうした課題解決の手段の一つに福祉サービス第三者評価の活用があげられます。

福祉サービス第三者評価の受審は、自施設の利用者や職員の声を聴くことにより、自分たちの施設運営・経営をリフレクション（内省）するひとつのきっかけになるとともに、第三者機関による専門的かつ客観的な立場から評価を受けることで、虐待等の防止につながる施設の透明性の確保、自施設の課題の顕在化やサービスの改善など新たな気付きにつながることを期待できます。

そこで、本シンポジウムでは福祉サービス第三者評価事業を施設の運営や経営に役立てるための有効的な活用や具体的な実施方法・効果等を紹介します。また、第三者評価をとおした福祉サービスの質の向上について考えるきっかけとし、栃木県における受審の促進を図ることを目的に開催します。

2 主 催 とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構／栃木県社会福祉協議会

3 後 援(予定) 栃木県／栃木県社会福祉法人経営者協議会／(一社)栃木県老人福祉施設協議会
(特非)栃木県障害施設・事業協会／栃木県児童養護施設等連絡協議会／栃木県保育協議会

4 日 時 令和7年2月10日(月)

5 会 場 とちぎ福祉プラザ 2階 第2研修室 (宇都宮市若草1-10-6)

6 内 容

時 間	内 容
12:40～	受 付
13:10～13:10	開 会
13:10～14:10 (60分)	講 義 『福祉サービス第三者評価の効果的な活用方法～（第三者評価を通して）利用者や職員の声から人材定着、サービス向上を図るために』 講師 一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 (社会福祉法人岩手県社会福祉協議会) 副会長 右京 昌久氏
14:10～14:20	休憩
14:20～15:55 (90分)	実践報告（リレーセッション） 『第三者評価を受審して～メリットとデメリットからみえてくるもの』 ※第三者評価を受審して組織・施設としてのメリット、デメリット等をお話しいたします。 報告者 ① 受審施設（障害者入所支援） 社会福祉法人すぎなみき会 すぎなみき学園 課長補佐 吉田 雄史氏

	<p>② 受審施設（保育所） 日光市おひさま保育園 園長 成田 律子氏（前 原町みどり保育園 園長）</p> <p>③ 評価機関・評価者の立場から 特定非営利活動法人 アスク 理事長/事務局 佐藤 由紀子氏</p> <p>進行兼コメンテーター 国際医療福祉大学 助教 中山 和幸 氏</p>
16:00	閉会

7 対象者 社会福祉法人経営者・施設長・従事者・、福祉関係者、行政職員、評価調査者 等

8 定員 80人

受付は先着順とし、定員を超えた時点で受付を締め切ります。

※定員を超え、お断りする場合のみご連絡いたします。

9 参加費 無料

10 申込方法 下記 URL もしくは QR コードよりお申込みいただくか、別紙様式にて FAX にてお申し込みください。

※申込〆切: 令和7年1月29日(水)



(QRコード)

URL:: <https://forms.gle/QFTx1PBpPR73UsXy7>

11 申込先 とちぎ福祉サービス第三者評価推進機構 事務局 担当:今井/井澤

〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ(栃木県社会福祉協議会内)

TEL 028-622-7555 / FAX 028-622-2316